

# C O R R E N T E

Centro Culturale Italo-Giapponese di Kyoto

現代イタリア事情 -Italia oggi- 第8回

## \* イタリアの警察は世界一！ \*

立元 義弘

イタリアの街角でパトロールをするパトカーや警察官の制服姿を注意して眺めると、その色やデザインが種類ではないことに気がきます。さて、皆さんはイタリアにはいくつの“警察”があるかご存知でしょうか。

答えは次の通り。内務省の管轄する国家警察、国防省の管轄するカラビニエーリと呼ばれる軍警察、経済財務省管轄の財務警察、農業・食料・森林政策省管轄の森林警察、法務省管轄の刑務警察と、何と5つの国家レベルの警察組織があるのです。更に県や市町村が管轄する地方自治体警察が加わりますから、イタリアの警察機構は、他の先進諸国と比べてもかなり異色であると言えるでしょう。

勢いその構成人員数も多く、地方自治体警察を除いた国家レベルの警察組織だけでもその数は32万4千人を数え、他の欧州主要国と比べても群を抜いています。また、人口1万人あたりの警察官数という見方で比較すると、イタリアは55人という勘定になり、おそらく世界一と言って間違いないでしょう。一方、日本は20人とイタリアの1/3程度です。昔、日本旅行に招待したあるイタリア人のお客さんが、「街中で警察官を見かけない。日本の治安はたいしたものだ。」と感嘆していたのを思い出しますが、確かに日本では事故や事件の発生時でもない限り、イタリアには存在しない交番にお巡りさんの姿を見かける程度であることを考えると、このデータの差も納得がゆきます(図参照)。



【国別 1万人当たり警察官数】

それでは、これらの警察組織の任務や特徴についてそれぞれ簡単に見てみましょう。

### ●国家警察 (Polizia di Stato)

私たち日本人が持つ警察のイメージに最も近く、組織の規模も一番大きいのが国家警察です。構成人員数は約11万6千人。内務省の管轄で、傘下に鉄道警察、交通警察、国境警察、郵政通信警察などの専門組織も抱えています。

ローマにはバチカンを担当する専任部隊も持っており、法王がバチカンを出てイタリア領内を移動する時の護衛にあたるほか、サンピエトロ広場の警備を担当します。と、ここで「えっ、サンピエトロ広場ってバチカン市国じゃないの？バチカンに警察はないの？」という疑問を持たれた読者がおられるかもしれません。でも、間違いではないんです。

サンピエトロ広場はもちろんバチカン市国の領土であり、バチカンにも有名なスイス衛兵部隊やジェンダルメリーアと呼ばれる憲兵組織がありますが、1929年にイタリア王国とバチカンが双方の主権を認めあったラテラーノ条約の中で、サンピエトロ広場については、大聖堂への階段登り口までをイタリア警察が警備にあたりと定められているからなのです。そして、もし、バチカンが何らかの理由でサンピエトロ広場の自由な出入りを制限する場合は、バチカンからの要請がない限り、イタリア警察は広場を囲むベルニーニの柱廊の外に出ることとなっています。

### ●軍警察(カラビニエーリ Arma dei Carabinieri)

国家警察に次ぐ規模で総人員数は約10万1千人。国防省の管轄組織で、陸・海・空の三軍に次ぐ第4の軍隊として位置付けられており、その構成員は軍人の身分です。1814年にサルデーニャ王国の国王ヴィットリオ・エマヌエーレ1世によって創設されたピエモンテの治安部隊がその起源で、隊員がカービン銃(Carabina)を携行したことからカラビニエーリと呼ばれるようになりました。



【カラビニエーリの精鋭部隊 コラッツィエーリ】

カラビニエーリは国家警察と同様に国内の公安・治安維持にあたる司法警察としての任務と共に、国連やNATOの多国籍軍の一員としてコンボやアフガニスタンなどの国際紛争地域にも派遣されています。ご記憶の読者も多いと思いますが、カルガリーやアルベールビル冬季オリンピックの回転・大回転競技で3つの金メダルを獲得したアルベルト・トンバ選手もカラビニエーリの出身です。また、イタリア大統領の儀仗兵としてのコラッツィエーリと呼ばれる精鋭部隊もカラビニエーリに

属し、甲冑を身に付けたその威風堂々たる姿は国家行事や国賓訪問時などの機会に目にすることがありますが、身長190cm以上で一定レベルのバイクの運転や乗馬の技術が求められます。

カラビニエーリは恐〜い“憲兵”という存在でありながら、伝統的に多くの国民から愛され、親しまれてきた存在でもあり、その親愛感情の裏返しか、カラビニエーリの間抜けさをテーマにした笑い話には事欠きません。

### ●財務警察 (Guardia di Finanza)

フィアンメ・ジャツレ(fiamme gialle 黄色い炎)というニックネームを持つ財務警察は6万7千人の体制で、主に経済犯罪の予防・取締りを担当します。経済財務省の管轄組織ですが、カラビニエーリと同様、軍制組織であり、その起源はサルデーニャ王国時代の1774年に遡り、5つの国家レベルの警察組織の中で最も古い歴史を持っています。

私のイタリア在住時の経験談ですが、妻とミラノ市内の青空市場で買い物をしていた時に、財務警察を名乗る私服の男に呼び止められ、買い物袋の中身を見せるよう求められたことがあります。その時は、新手のスリかと半信半疑で身構えつつも要求に応じたのですが、後で彼はれっきとした警察官であることがわかり、私は当時こうした場所で半ば公然と売られていた密輸タバコを買ったのではと疑われたのです。脱税・汚職といった大掛かりな犯罪から、このような市井の小さな犯罪の取り締まりまで、財務警察のカバーする担当分野は広範です。

### ●森林警察 (Corpo Forestale dello Stato)

農業・食料・森林政策省に属する文民組織で、非都市部や山間地域の治安維持、全国130に及ぶ国立公園の保護・監視、ごみの不法投棄や不法建築等の環境犯罪の取締り、ワシントン条約に則った動物保護監視や違法狩猟の取締り、農産物を主とする食品安全管理等、その任務は広範にわたっています。しかし、人員数は8,500人と少なく、人数不足が悩みです。

### ●刑務警察 (Polizia Penitenziaria)

法務省の管轄で、人数は4万3千人。全国205か所の刑務所の管理や犯罪者の拘置・移送・更

生支援等を担当しています。

●市町村警察（Polizia Municipale）と県警察（Polizia Provinciale）

上記5つの国家レベルの組織とは異なり、県（Provincia）や市町村（Comune）といった地方自治体の管轄下におかれる組織で、総称して地方警察（Polizia Locale）とも呼ばれます。当然のことながら属する地方自治体の管轄地域のみをカバーし、主としてその地域の行政警察、交通警察としての任務を帯びています。但し、麻薬に関する捜査は管轄外とされ、警棒や催涙スプレー等の“武器”の携行もできないことになっています。また、街角で交通整理や駐車違反取締りにあたる、白いとんがったヘルメット姿の“お巡りさん”はヴィーグレ（Vigile）と呼ばれています。



【市町村警察のヴィーグレ】

以上のように、イタリアの警察機構はそれぞれ監督省庁の異なる複数の組織からなっており、それぞれが司法警察として治安維持機能が与えられているため、組織間の連携、担当の重複、運営コストのムダといった諸問題も抱えています。特に、国家警察とカラビニエーリはある意味では“競争”関係にあり、双方がテロ・マフィア対策の特殊任務部隊を持つなど、重複した機能を有する部分も多く、実際に、犯罪組織のアジトを捜査中の国家警察の私服捜査官が、相互の連携不足から同じミッションを帯びたカラビニエーリの私服捜査官を誤射してしまうという事故が起こったりもしてい

ます。近年、組織の一本化の必要性が指摘されてきていますが、それぞれが独自の歴史や文化を持ち、異なる監督省庁間の綱引きもあって、実現は困難であるのが実情のようです。



【左:Carabinieri, 右:Poliziaのパトカー】

また、緊急通報番号も現状は統一されておらず、カラビニエーリが112、国家警察が113、財務警察は117、消防は115、救急は118といった具合です。財務警察の117はともかく、いざという時のためにあとの4つは普段から覚えておく必要があるでしょう。もし間違えて違うところにかけてしまったとしても、それぞれの管制センターが適切な組織や部署に転送することになっているようですが、それにしても機動性という点では効率が悪いと言わざるを得ません。既に他の欧州各国では112を緊急通報番号として統一が進んでいる中、EUからも早期の番号一本化が強く要請されていますが、一部地域で統一管制センターの設置実験が行われてはいるものの、実現にはまだまだ時間がかかりそうです。

最後に、本文中にも触れたカラビニエーリの笑いをひとつ。パトカーでパトロール中の上官と部下の会話です。

- 上官「おい、ちょっと方向指示器が点いているか見てきてくれ。」
- 部下「Sì signore. 了解しました。」  
〈部下、パトカーを降りて見に行く〉
- 上官「どうだ。ちゃんと点いているか？」
- 部下「Adesso sì, adesso no, adesso sì, adesso no, adesso sì .....（点きました、消えました、アッ、点きました、エッ、また消えました、オッ、今度は点きました、...）」
- 上官「。。。。」

（大阪大学講師、元パナソニックイタリア社長）



## イタリア通信

第8回『ブンガ・ブンガ』

-イタリアの“真面目”な問題-

深草 真由子

「あの娘らの運命を決めてやれるのは、権力者である俺たちなんだぜ」。—これは9月17日のラ・レップブリカ紙に掲載されたシルヴィオ・ベルルスコーニの発言の一部で、ナポリ地検に起訴されているバーリの実業家ジャンパオロ・タランティーニとの電話での会話内容が傍受されたものである。タランティーニという男は、自身のビジネスの利益も目論んでベルルスコーニに近づき、首相の家で開催される「夕食会」に、総勢 30 人ほどの女性を送りこんだ。何人かの女性にはその見返りとして現金を渡したことも明らかになっている。

東日本大震災、リビアへの軍事介入、ランペドゥーサ島に上陸するチュニジア難民、ギリシアの財政危機、ノルウェーのテロ、自国の経済危機と暴徒化した反格差デモ。世界中で深刻な出来事が続く中、他に議論すべき課題、報道すべき問題が多々ある中で、毎週のように発覚する政治家のスキヤンダル。特に首相と、彼のことを「パピイ」と呼ぶエスコート嬢たち（通称「パピイ・ガールズ」）が繰り広げているらしい乱交パーティ「ブンガ・ブンガ」関連の話題は、真面目に働き生活しているイタリア人にとっては不愉快極まりない。新聞に掲載された傍受内容を、許される範囲内で紹介しよう。

●2008 年 10 月

-B(ベルルスコーニ): ジャンパオロ、みんな俺に仕事ばかりさせやがる。土曜は共和国大統領とローマ教皇を迎え、その午後にはパリでサルゴジにメルケル、ゴードン・ブラウンだ。日曜の晩は国民同盟のイベントがあるし…。最悪。

-T(タランティーニ): では、8 日にお会いしましょう。

-B: もし女の子を一人、いや二人でも三人でも連れてくるのなら、お願いだから背の高い子はやめて。俺たちみんな、背が小さいのだから。

●2009 年正月

-B: 昨晩は寝室のドアの向こうに列ができていてね。11 人いたけど 8 人しか片づけられなかった。それ以上は無理だったよ…でも今朝は体の調子が良い。年の割に元気なことには満足さ。

-T: 女の子は全部で何人いるんですか？

-B: 40 人。部屋が足りないから、この近くに家を一軒買ったよ。これでさらに 12 人呼べる。

●2009 年 1 月

-T: 昨日はマヌエーラ(女優でパピイ・ガールズの一人)の誕生日だったんですよ。

-B: マンマ・ミーア… お祝いしてあげなかったよ。いくつになったんだい？ 29 だっけ？

-T: ええ。

-B: もう“おばさん”だな。

ベルルスコーニのハーレムは、公務の時に寝泊まりするローマの住宅、ローマ郊外の城、週末を過ごすミラノ近郊の住宅、ヴァカンスを過ごすサルデーニャの別荘にあるらしい。ローマの持ち家グラツィオーリ邸は、かつてムツソリーニの執務室があったヴェネツィア宮殿のすぐ隣という、観光客にもお馴染みの場所に位置する。パピイ・ガールズは、驚くべきことにほぼノーチェックで門衛を通り、首相とその友人たち(実業家、テレビ番組のプロデューサーら)と共にまずは優雅に夕食、そして次第にセミヌードあるいはナースや尼僧になって乱痴気騒ぎとなる。一夜を共に過ごす相手(それも一人とは限らない)としてベルルスコーニに選ばれんがため、彼女たちは競って首相を誘惑しにかかるらしい。首相のお気に入りになることができれば、何らかの特典が見込めるからだろう。「シルヴィオは私たちの金づる(通信傍受記録より)」なのだ。

傍受内容や関連記事の一部を読んだ筆者が数えたところによると、パピイ・ガールズと呼ばれる女たちの数は、特定可能な人物だけで、なんと 50 を超える。イタリア人もいれば、中南米や東欧出身者もあり、彼女たちの経歴としてはミス・コンテストの入賞者、レアリティショーなどのテレビ番組出演者、ショーガール、お天気キャスター、モデル、女優といったところだろうか。彼女たちは首相から、なんらかの物品やお金を受け取っており、中には家を買ってもらった者までいる。また特に優秀な

(?)者のご褒美として、政治家に転身するチャンスまで与えられるのである。2010年に当選したロンバルディア州の現議員ニコール・ミネッティはブンガ・ブンガの仕切り役で、未成年買春斡旋容疑で起訴中。雑誌エスプレッソによれば、パピィ・ガールズの中でも最も成功しているのが現機会均等大臣、「世界一美しい閣僚」と評されるマール・カルファーニャであり、彼女は後輩たちに然るべき道を指し示した憧れの的である。他にも国会議員あるいは欧州議会議員になった者が何人もいるが、政治家としての実績はみな今一つ。また薬物所持やマフィアとの癒着など、犯罪の匂いがするパピィ・ガールズもいる。



【“脱いだらスゴイ” Lombardia 州議の Nicole Minetti】

それ自体は違法行為ではないにしても、このような淫らなパーティを繰り広げ、首相から報酬を得ていたことがマスコミによって実名で暴露され、報道陣に追われるパピィ・ガールズ…恥ずかしくはないのだろうか。日本人ならばサングラスにマスク、帽子を目深く被って身を隠すところだが、彼女たちはなんと堂々としていることか。ベルルスコーニから贈られた高級宝飾品を自慢げに見せ、

カメラマンの前でポーズを決めてみたり、グラビアに出て、インタビューに応じたり。「Tシャツ脱いたら、私はもっとスゴイのよ」と書いたTシャツを着て高級ブランド店巡りをする者がいるかと思えば、「私が本当の婚約者。私はイタリアのファースト・レディ」と言い張る者まで出てきた。ヴェネツィア映画祭の招待客としてVIP気取りの登場から、ウィーンの舞踏会デビューまで。話題性のある彼女たちを利用する者がいるのだろうが、しかし一体これは何ということだろう…。「何でもあり」すぎて、堅物な私などは目が回るような思いをしているが、普通の真面目なイタリア人も開いた口がふさがらないようである。

“Se non ora, quando?”(今でなければいつ?)を合言葉に、歴史に残る大規模デモが行われたのは今年2月13日のことだ。女性の尊厳が侵されていると感じた女たちだけではなく、ベルルスコーニの言動に憤慨する男たちも一緒になり、イタリア国内と海外の大都市で百万人以上の人々が集結した様子は圧巻だった。「ブンガ・ブンガ」スキャンダルは、このデモの単なるきっかけにすぎない。2010年の世界経済フォーラムによる世界男女格差報告では、イタリアは134カ国中で74位という決して良くない順位で(ちなみに日本は94位とさらに悪い)、管理職の女性の給与の平均は男性のその三割減というデータもある。それを助長するかのように、ベルルスコーニの設立したメディアセットは、胸と足を露わにしたショーガールがセクシーに踊るさまを、朝から晩までテレビで流し続けている。「女性が社会的に成功するための第一条件は、外見の美しさである」という誤った考え方を、テレビ番組と政治を通して、この二十年間ベルルスコーニは国民に向けて発信し続けてきたようなものである。イタリアの老若男女が積年の義憤を晴らす時は、一体今でなければいつ?しかし、イタリア産業の二つの要である産業総連盟(Confindustria)と労働総同盟(CGIL)の会長がそれぞれ女性であるように、ベルルスコーニのmaschilismo(男性優位主義)に逆行する傾向が、国民の間に根付いているように見えることは心強い。

パピィ・ガールズの中には、ブンガ・ブンガ参加当時17歳であった少女がおり、彼女を買春したという容疑などで、ベルルスコーニがミラノ地裁に

起訴されたという前代未聞の事態は日本でも周知の通り。しかし恥ずかしい私生活が暴露されたことを逆手に取り、いつまでも旺盛な 75 歳の男として、国民にとってより身近で、より頼りがいのあるリーダーとして、検察いじめの被害者として、自己アピールをする開き直った首相の「たくましさ」…。ブンガ・ブンガにイタリア社会の抱えるさまざまな問題—女性問題、政治の腐敗、モラルの低下、若年層の高い失業率、司法、報道の問題—を見るような思いがするのだが、それらを首相が真剣に受け止めないならば、イタリア人にとって大きな災いとなるであろう。



【“Se non ora, quando?” デモの様子】

(元当館スタッフ)



## … 会館 だ よ り …

### 戦争、飢饉、ペスト禍

～東日本大震災被災者支援のためのチャリティ・セミナー 第4回～  
東日本大震災は、被害の甚大さや放射能問題のため、またその後の復興への期待も込めて、しばしば「戦争」と重ねて語られる。一方、西洋文学において戦争と強いアナロジーが働く災厄と言えば、ペスト禍である。イタリア近代小説の最高峰、マンゾーニの歴史小説『いなづけ』（初版 1825-27、決定版 1840-42）も、老若男女、身分の区別なく、あらゆる人々を巻き込んだ災厄（戦争、飢饉、ペスト禍）を主題として描いており、ボッカッチョ、デフォー、カミュらの作品とともに「ペスト文学の系譜」に連なる。  
本セミナーでは、17世紀のイタリア

を襲った大災害を、物語と関連させつつ、それ自体「記憶に値する」出来事として詳述したマンゾーニの試みについて考えてみたい。

日時：11/5（土）16:00～18:00  
会場：日本イタリア京都館 本校  
参加費：

個人維持会員：1,500 円

一般・受講生：2,500 円

※参加費は日本赤十字社を通じて

全額被災地へ寄付させていただきます

講師：霜田 洋祐（京都大学イタリア文学  
専修 TA）



編集・発行 / (財) 日本イタリア京都館  
〒606-8302 京都市左京区吉田牛の宮町 4  
TEL: (075) 761-4356/FAX: (075) 761-4357  
E-mail: centro@italiakaikan.jp  
URL: <http://italiakaikan.jp/>